

地域協議会の取組について

地域協議会について

【設置目的】

地域におけるジェネリック医薬品の使用促進のための事業についての情報を共有し、連携を強化するために、有識者及び関係団体等による地域協議会を設置する。

【これまでの設置地域】

地域	活動時期	協議会における主な取組
筑紫 飯塚	平成23～24年度	ジェネリック医薬品備蓄・融通体制の整備
八女筑後 田川	平成26～27年度 平成26～ <small>(※令和2年度はコロナの影響で未開催)</small>	地域基幹病院のジェネリック医薬品採用品目リストの作成・配布

北九州 福岡	平成25～28年度、令和元年度～	地域基幹病院のジェネリック医薬品採用品目リストの作成・配布 課題解決型事業(子ども及び保護者)
-----------	------------------	--

最近の地域協議会の実施状況(北九州・福岡地区)

【令和元年度】

1. 日時: 令和2年3月(北九州地区、福岡地区いずれも書面開催)

2. 主な議論内容

(1) 基幹病院ジェネリック医薬品採用品目リスト作成について

本リストは北九州地区/福岡地区の病院からも協力いただいていることからリストの表紙に「北九州地区ジェネリック医薬品地域協議会」/「福岡地区ジェネリック医薬品地域協議会」の名称を付してよいか。

→承認

最近の地域協議会の実施状況(北九州・福岡地区)

【令和2年度第一回】

1. 日時: 令和2年8月(新型コロナウイルス感染症の影響により北九州地区、福岡地区いずれも書面開催)

2. 主な議論内容

(1) 子ども及び保護者向け啓発事業について(伺い)

子ども及び保護者向け啓発(詳細は次ページ以降)を行うこととしてよいか。

→承認

【令和2年度第二回】

1. 日時: 令和3年3月(新型コロナウイルス感染症の影響により北九州地区、福岡地区いずれも書面開催)

2. 主な議論内容

(1) 子ども及び保護者向け啓発事業について(報告)

(2) 来年度を取組案について

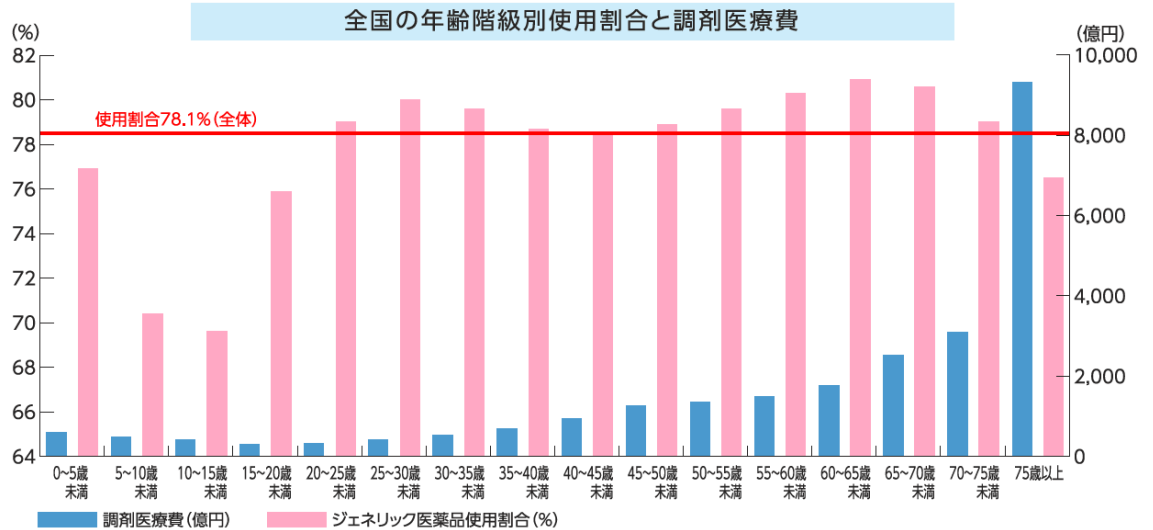
・令和3年度も同様の子ども及び保護者向け啓発を行う。(今年度対象者は除く。)

・北九州市及び福岡市のレセプトデータを解析し、医療機関、薬局における課題について抽出する。

子ども及びその保護者啓発事業

■ 全国の年齢階級別使用割合と調剤医療費（参考）

全国の調剤医療費（平成31年4月～令和元年7月）で見た年齢階級別の後発医薬品使用割合は、0歳から20歳未満と75歳以上で全体平均を下回っており、一方で調剤医療費は年齢が上がるとともに増加する傾向にあります（※3）。



※3：厚生労働省「最近の調剤医療費（電算処理分）の動向（平成31年4月～令和元年7月）」

【背景・目的】

GEの使用促進に係る県民への啓発は、県や各保険者等の様々な関係機関において取り組まれているが、その普及率は78.1%であり目標としている80%には届いていない。特に子どもの世代で普及率が低いことが指摘されていることから、普及率の底上げを行うべく15歳未満を対象とした啓発を行う。

【概要】

GE使用を促進する啓発用リーフレット及び保険証や医療証に貼付可能なGE希望シールを作成し、以下の対象に配布する。送付する際に、GEに関するアンケートも同封する。

【対象】

市内の15歳未満の者であって、GE使用による差額が100円以上になる者の国保被保険者世帯へ送付

北九州市：336人 福岡市：772人

啓発用リーフレット(外側)

ジェネリック医薬品を選ぶことは、現在の医療制度を守るにつながります。

子ども医療制度は、各家庭の子育て期における経済的負担を減らすため、お子さんが医療機関を受診した際にかかる医療費の自己負担分を無料にする自治体が行う取り組みです。みなさんの窓口での支払いを無料にするための費用は自治体が負担しています。

医療費が増え続ければ、この医療制度を次の世代へつなげていくことが難しくなります。

先発医薬品からジェネリック医薬品に替えると、「税金」や「保険料」でまかなわれている医療費を節約することになります。

今の制度の恩恵を受けながらも、子どもたちや子どもを育てる世代が安心して暮らせる未来を着実に残すことが求められています。

ジェネリック医薬品の選択は子どもの医療制度を未来につなげる「確かな貢献」です。



【お問い合わせ】

福岡県保健医療介護部薬務課
電話：092-643-3285

薬の使用方法や取り扱い方法などに関してご質問がある場合はこちらにお電話ください。

公益財団法人福岡県薬剤師会
薬事情報センター

【くすりなんでもテレホン】

電話：092-271-1585

【LINEやメールでも相談できます】

LINE



e-mail



【政府インターネットテレビ】

<https://nettv.gov-online.go.jp/prg/prg4155.html>

ジェネリック医薬品について動画でわかりやすくご説明しています。



啓発用リーフレット(内側)



ジェネリック医薬品の利用促進は、子ども医療制度を未来につなぐ「確かな貢献」です。



ジェネリック医薬品とは先に開発された薬(先発品)の特許期限が切れたあとに、同じ有効成分を用いて製造される医薬品です。

先発品と同じ有効性・安全性ですが 安価です

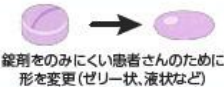
- 先発品と同じ有効成分、同じ効き目として国が承認したものです。
- 有効性や安全性は先発品と同等でありながら、**価格は先発品より安いのが特徴**です。
- 医療制度を未来につないでいくためには、医療費の節約が非常に大切です。
- ジェネリック医薬品を選ぶことで、国の医療費を節約できます。



飲みやすい工夫がしてあります

- 先発品の特許期間中に処方を受けた患者さんや、医師、薬剤師、看護師などの医療関係者などから集めたさまざまな意見をもとに、患者さんが飲みやすいように工夫が加えられています。
- 味や大きさを改良したり、容器を改良したりして使いやすくしている製品があります。

製剤の工夫



福岡県では、ジェネリック医薬品の普及を推進しています。

希望するためにはどうしたらいいの

- ジェネリック医薬品を希望される際は、まず、医師・薬剤師にご相談下さい。
- 希望を医師・薬剤師にお伝えする際は、「ジェネリック医薬品希望シール」を子ども医療証やお薬手帳に貼って、病院や薬局の窓口で提示するなどご活用下さい。

ジェネリック医薬品を活用しましょう!

シールの使用例 /

健康保険 被保険者証	有効期限 今年00年 0月 00日	交付年月日 今年00年 0月 00日
記号 △△△△	番号 000000	
氏名 〇〇 〇〇	性別 男	
生年月日 平成00年 0月 00日	資格取得年月日 令和00年 0月 00日	
住所 □□□□市□□区□□	保険者番号 □□□□□□	

※印字された文字に重ならないようにご注意ください。

お薬手帳

ジェネリック
お薬手帳
貼ってください



GE希望シール

GE希望シール台紙

(2枚とも送付)

ジェネリック医薬品を活用しましょう!

\シールの使用例 /

健康保険 有効期限 令和00年 0月00日
被保険者証 交付年月日 令和00年 0月00日

記号 △△△△ 番号 000000
氏名 ○○ ○○
生年月日 平成00年 0月00日 性別 男
資格取得年月日 令和00年 0月00日 **ジェネリック 希望します**
住所 □□県 □□市 □□町 0番00号
保険者番号 □□□□□□□□ 保険者名 □□□□

お薬手帳

ジェネリック 希望します ※印字された文字に重ならないようにご注意ください。
ジェネリック 教えてください

下のシールをはがして保険証やお薬手帳などの余白部分に貼ってお使いください。

ジェネリック医薬品 希望シール

保険証や診察券、お薬手帳に貼ってね!

ジェネリック 教えてください

ジェネリック 希望します

ジェネリック 教えてください

ジェネリック 希望します

ジェネリック 教えてください

ジェネリック 希望します

ジェネリック 教えてください

ジェネリック 希望します

ジェネリック医薬品を活用しましょう!

\シールの使用例 /

健康保険 有効期限 令和00年 0月00日
被保険者証 交付年月日 令和00年 0月00日

記号 △△△△ 番号 000000
氏名 ○○ ○○
生年月日 平成00年 0月00日 性別 男
資格取得年月日 令和00年 0月00日 **ジェネリック 希望します**
住所 □□県 □□市 □□町 0番00号
保険者番号 □□□□□□□□ 保険者名 □□□□

お薬手帳

ジェネリック 希望します ※印字された文字に重ならないようにご注意ください。
ジェネリック 教えてください

下のシールをはがして保険証やお薬手帳などの余白部分に貼ってお使いください。

ジェネリック医薬品 希望シール

保険証や診察券、お薬手帳に貼ってね!

ジェネリック 教えてください

ジェネリック 希望します

ジェネリック 教えてください

ジェネリック 希望します

ジェネリック 教えてください

ジェネリック 希望します

ジェネリック 教えてください

ジェネリック 希望します

子ども医療証

貼付イメージ

健康保険証と一緒に医療機関等の窓口に掲示してください (県外では使用できません)

福岡市子ども医療証

子 医療証

負担者番号 ●●●●●●●●●●●●●●●●
受給者番号 ●●●●●●●●●●●●●●●●

受住所 福岡市南区 ●●●●●●●●●●●●●●●●

開始者 氏名 ●●●●●●●●●●●●●●●● ●●●●●●●●●●●●●●●●
生年月日 平成29年 6月 ●日

ジェネリック 希望します

区分	有効期間	一部自己負担金
3歳未満	平成30年1月●日から 平成32年6月30日まで	入院外 徴収しない 入院 徴収しない
3歳以上 就学前	平成32年7月1日から 平成36年3月31日まで	入院外 月600円限度 入院 徴収しない
小学生	平成36年4月1日から 平成42年3月31日まで	入院外 月1200円限度 入院 徴収しない
中学生	平成42年4月1日から 平成45年3月31日まで	入院外 助成対象外 入院 徴収しない

上記金額を医療機関(薬局を除く)ごとに徴収してください。

発行機関名 福岡県
及び印 福岡市南区長

交付年月日 平成30年11月●日

アンケート(はがき)

お子様が使用する医薬品について教えてください。

Q1 現在、ジェネリック医薬品を使用(希望)していますか？
その理由もお答えください(理由に○、複数回答可)。

1. 使用している

理由	・社会貢献になるから	・自己負担額が安くなるから
	・使いやすい製品があるから	・医師・薬剤師に勧められたから
	・その他(具体的に：)	

2. 使用していない

理由	・子ども医療証を活用しており、自己負担額に変わりがないから
	・医師・薬剤師から勧められないから
	・品質に不安があるから
	・病院・薬局で取り扱いがないといわれたから
	・効かないから(効かないイメージがあるから)
	・アレルギーが発現するかもしれないから
	・知らない、興味がないから
・その他(具体的に：)	

ご自身(保護者)が使用する医薬品について教えてください。

Q2 現在、ジェネリック医薬品を使用(希望)していますか？
その理由もお答えください(理由に○、複数回答可)。

1. 使用している

理由	・社会貢献になるから	・自己負担額が安くなるから
	・使いやすい製品があるから	・医師・薬剤師に勧められたから
	・その他(具体的に：)	

2. 使用していない

理由	・自己負担額があまり変わらないから
	・医師・薬剤師から勧められないから
	・品質に不安があるから
	・病院・薬局で取り扱いがないといわれたから
	・効かないから(効かないイメージがあるから)
	・アレルギーが発現するかもしれないから
	・知らない、興味がないから
・その他(具体的に：)	

アンケートは以上です。郵便ポストへ投函してください。

後発医薬品の使用状況に関するアンケート調査結果（子ども及び保護者）

I. 調査の概要

1. 調査目的

これまで、本県においては、様々な使用促進対策に取り組んできたが、レセプト分析の結果などから、0歳～15歳におけるジェネリック医薬品の使用が進んでいないことが明らかになっている。そこで、令和2年に子ども世代に対し、以下の啓発資材を送付し、併せて、子どもならびに保護者の後発医薬品の使用状況を把握することを目的にアンケートを実施した。

- ・ジェネリック医薬品の使用を促す啓発リーフレット
- ・ジェネリック医薬品希望シール

2. 調査対象・方法

対象・方法	北九州市在住の15歳未満の国民健康保険被保険者及びその保護者、福岡市在住の15歳未満の国民健康保険被保険者及びその保護者
-------	--

3. 調査期間

調査期間	令和2年11月30日（月）～令和2年12月18日（金）
------	-----------------------------

4. サンプル数

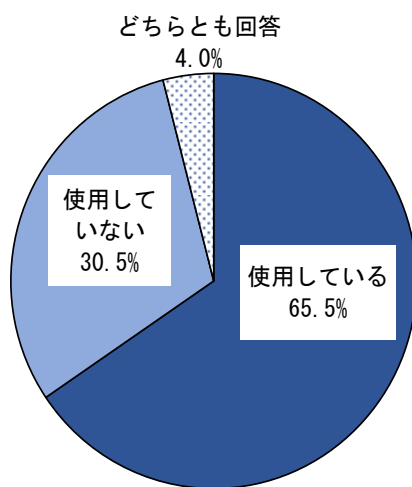
配布数	1,108世帯
回答数	174世帯（郵送：117世帯 ウェブ：57世帯）
回収率	15.7%

Ⅱ. アンケート調査結果

(1) 子どものジェネリック医薬品の使用（希望）状況

①使用状況

子どものジェネリック医薬品の使用（希望）状況についてみると、「使用している」が65.5%、「使用していない」が30.5%となった。

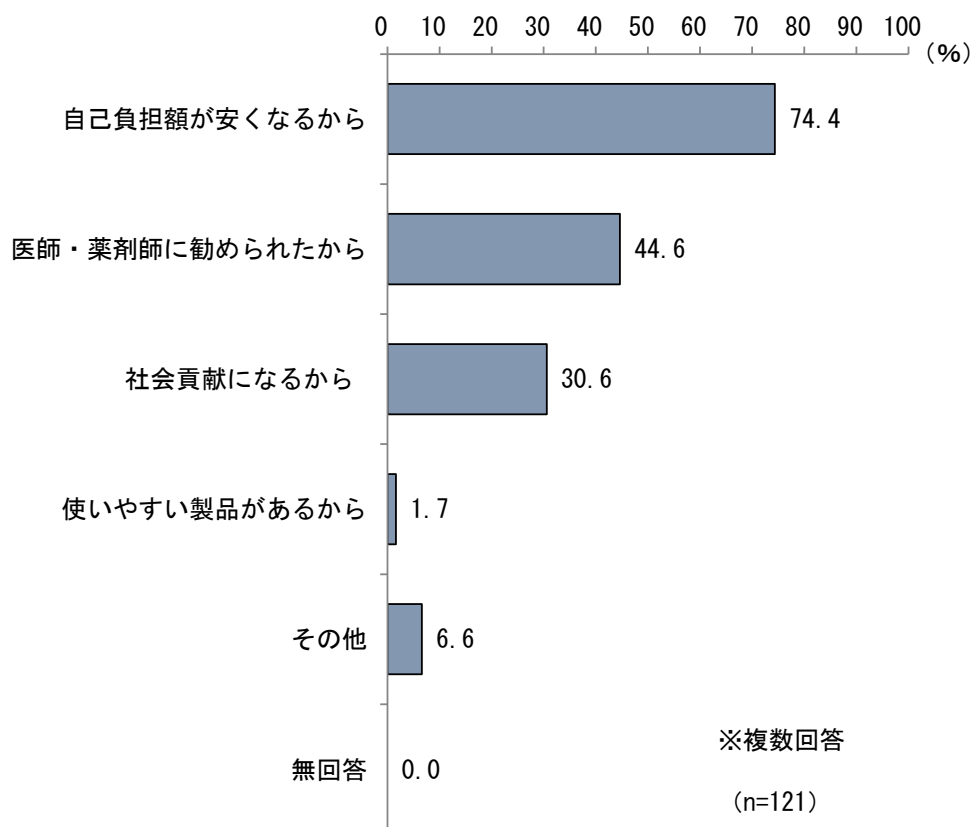


(N=174)

図表1 ジェネリック医薬品を使用（希望）しているかどうか（子ども）

②使用（希望）する理由

ジェネリック医薬品を使用している理由をみると、「自己負担額が安くなるから」が74.4%と最も多く、次いで「医師・薬剤師に勧められたから」が44.6%、「社会貢献になるから」が30.6%となった。

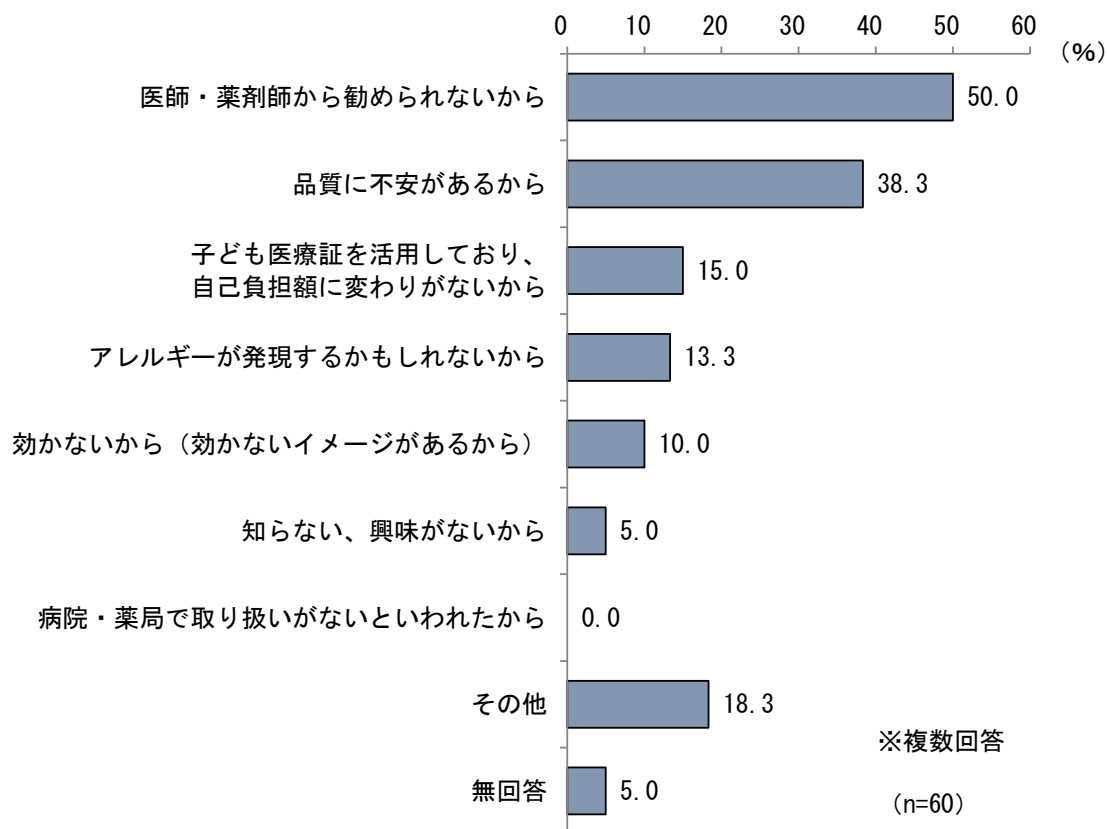


その他の内容
薬剤師の方にジェネリック医薬品の意義を聞いたので
ジェネリックは今も昔も変わらない成分と聞いたから
毎回ではないが勧められた時や説明があった時
親がそうするから
特に指定してないのでジェネリックを出されてるときがある
使用しているがジェネリック薬品かどうか分からない。シールは貼ってる。
希望シールを貼っているが説明がないから分からない
なんとなく

図表2 ジェネリック医薬品を使用（希望）する理由（子ども）

③使用（希望）しない理由

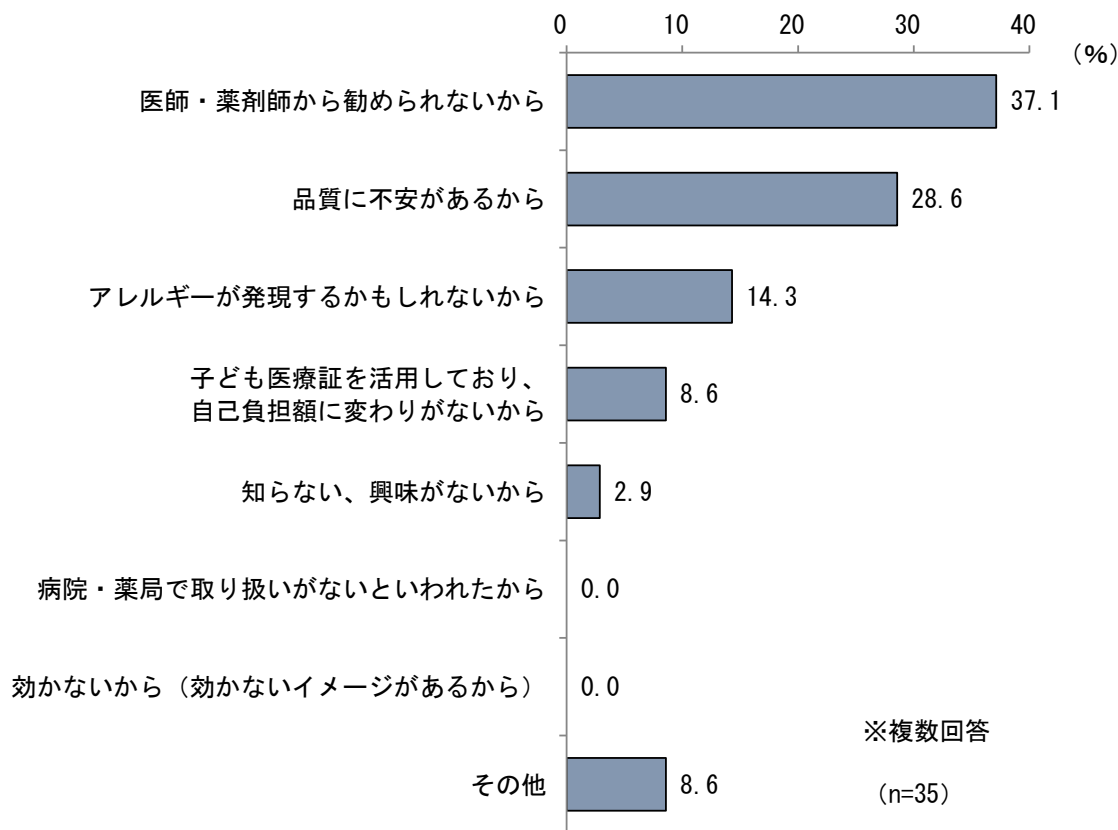
ジェネリック医薬品を使用しない理由をみると、「医師・薬剤師から勧められないから」が50.0%と最も多く、次いで「品質に不安があるから」が38.3%、「子ども医療証を活用しており、自己負担額に変わりがないから」が15.0%となった。



その他の内容
シールなどを貼ってアピールしないといけないと知らなかったから
ジェネリックを飲んでいいが、いつもタイミングを失う
ジェネリックがまだない
まだ新薬なのでジェネリックは無いので
使用してあわなかった事があるから
使用したがよくなかったのでやめた
先発の方が飲んでる人が多い分、その薬に対しての副作用等の情報が多いからです。
信用できないから
効用が同じでも、同じ成分なのか・・・など一般の人には分からないことが多すぎる
同じものを新薬として作る必要はないし、何か変わったの新薬と思うから。
なんとなく

図表3 ジェネリック医薬品を使用（希望）しない理由（子ども）

保護者はジェネリック医薬品を使用（希望）している（次ページ以降参照）が、子どもには使用（希望）していない理由をみると、「医師・薬剤師に勧められないから」が37.1%と最も多く、次いで「品質に不安があるから」が28.6%、「アレルギーが発現するかもしれないから」が14.3%となった。

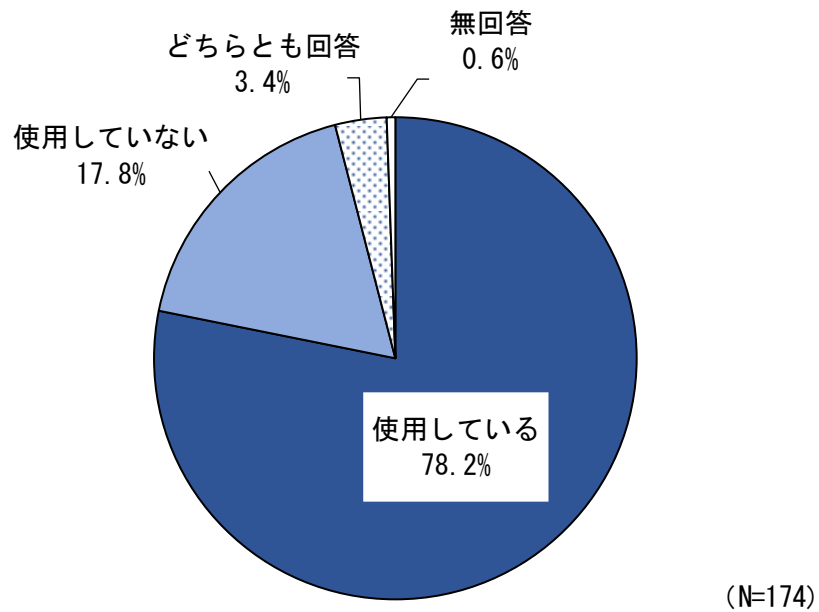


図表4 【保護者はジェネリック医薬品を使用（希望）者限定】ジェネリック医薬品を使用（希望）しない理由（子ども）

(2) 保護者のジェネリック医薬品の使用（希望）状況

①使用状況

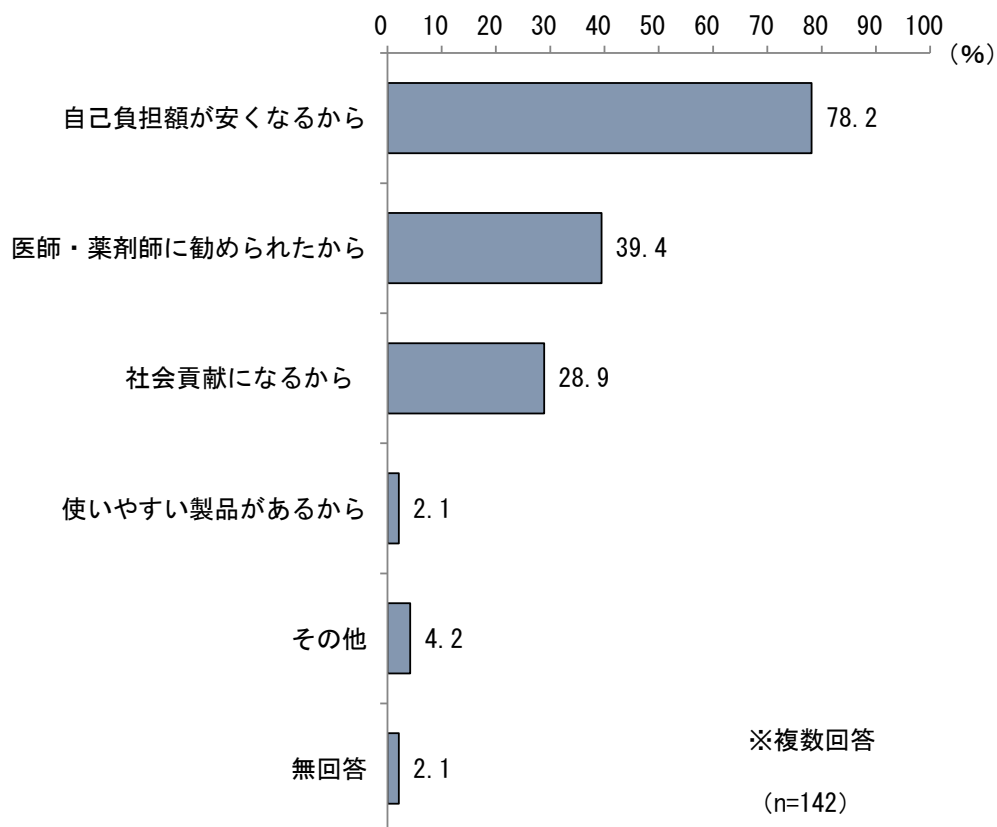
保護者のジェネリック医薬品の使用（希望）状況についてみると、「使用している」が78.2%、「使用していない」が17.8%となった。



図表5 ジェネリック医薬品を使用（希望）しているかどうか（保護者）

②使用（希望）する理由

ジェネリック医薬品を使用している理由をみると、「自己負担額が安くなるから」が78.2%と最も多く、次いで「医師・薬剤師に勧められたから」が39.4%、「社会貢献になるから」が28.9%となった。

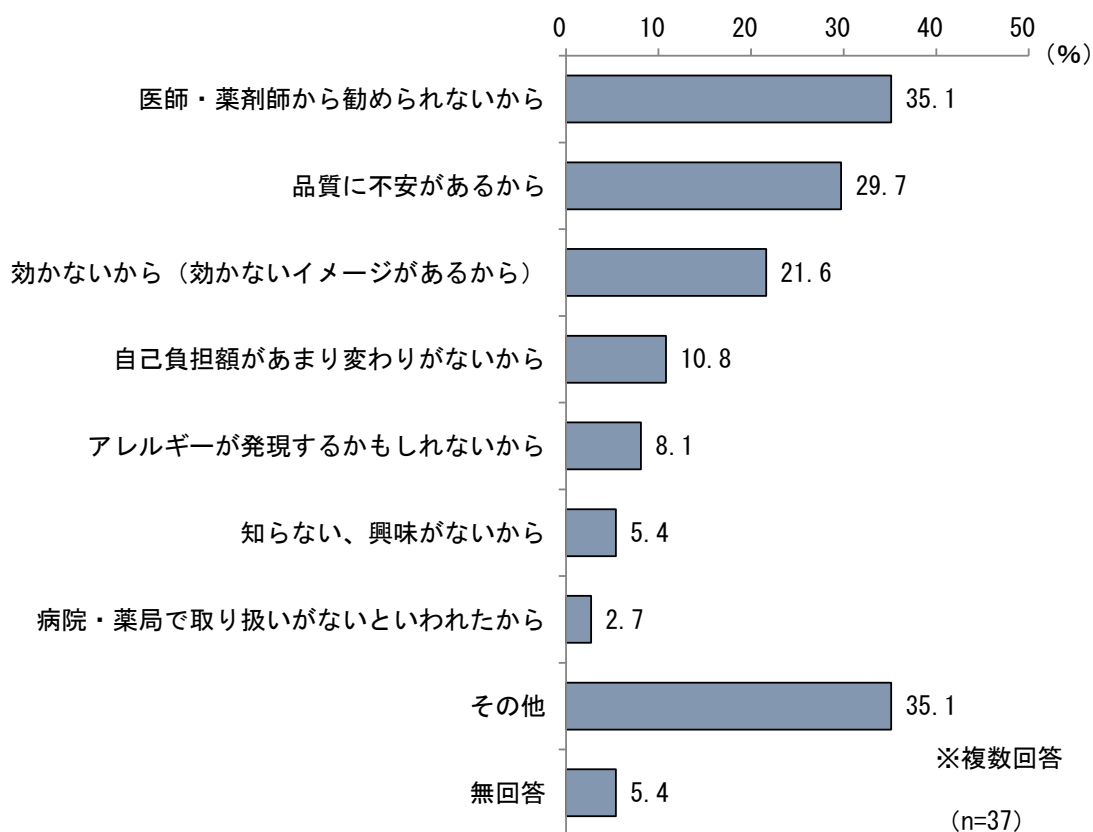


その他の内容
希望シールを貼っています
会社からの指示
毎回ではないが勧められた時や説明があった時
ジェネリックをすすめられない場合は普通の薬になります
その方がいいかなと思って
自身はどうでもいいし何とかなるから

図表6 ジェネリック医薬品を使用（希望）する理由（保護者）

③使用（希望）しない理由

ジェネリック医薬品を使用しない理由をみると、「医師・薬剤師から勧められないから」が 35.1%と最も多く、次いで「品質に不安があるから」が 29.7%、「効かないから（効かないイメージがあるから）」が 21.6%となった。



その他
錠剤ではなく顆粒を服用している為、パンフレットには錠剤の場合しか書いていない
子ども同様あわなかった事がある。
先発の方が飲んでいて多い分、その薬に対しての副作用等の情報が多いからです。
効用が同じでも、同じ成分なのか・・・など一般の人には分からないことが多すぎる
シールなどを貼ってアピールしないといけないと知らなかったから
なんとなく不安
信用できないから
病院にかかっていないので
医薬品を使用しないので
今の所健康で薬の必要がないから
普段薬を飲んでいない

図表 7 ジェネリック医薬品を使用（希望）しない理由（保護者）

(3) その他意見

その他意見
子、親とも、医師がジェネリックを指定すれば従います。以前、薬剤師のすすめるままジェネリックを服用しアレルギーがでたからです。ジェネリックのリスクも示すべきです。
医師・薬剤師に言われたい限りジェネリックを忘れていません。
最近病気をしていないので薬をもらっていないがジェネリックを使用することも考えていきたいと思えます。